



きせき

秋草学園高等学校 卓球部通信
令和3年9月7日
第445号
(文責 古川)



私の中学校時代

——卓球部はいじめの巣窟だった——

私が卓球部を選んだのは、姉が卓球部員だったからです。小学校の時姉の試合を応援し、卓球のすばらしさを知ったからです。中学生になると迷わず卓球部に。当時1年生はボールを打てませんでした。理由は台が少ない上に新入部員が多すぎたからです。記憶では30～40人位いたと思います。部活の時間何をしたかという先輩の球拾いです。卓球台の後ろに何十人も1列に並び、ボールが後ろに行くと罰トレーニングという日々の連続でした。そんな状況なので1人辞め2人辞めと気づいたら、私1人になってしまいました。それでも球拾いの日々。拾ったボールを先輩に渡すとそれをラケットではじき返す。それをまた拾って先輩に渡すと、またはじき返す。その繰り返しでした。そして渡し方が悪いとうさぎ跳びを命じられました。広い体育館のうさぎ跳びは足が動かなくなり、涙が出そうになります。そんな時卓球部3年生の姉が体育館に来ました。2年の先輩はうさぎ跳びを中止させました。

当時顧問の先生は体育館に1度も来た記憶がありません。生徒の自主性に任せていたのでしょうか。それにしても大変な経験でした。最後の1人になっても続けた理由として私は単純で物事を深く考えられなかったからです。簡単にいうと愚かだったからでしょう。決して根性があるとか、我慢強いからとかいうものでは有りません。単に「卓球部やめる」という選択肢がなかったからです。

いじめはどこにでも有ります。特に指導者不在の場合。このことから出来るだけ練習場に顔を出し、いじめの無い部活動運営ができることを願っています。



地区大会組み合わせ

全日本予選展望

この大会での県代表数は7名ですが、今までの秋草の戦績ではほとんど代表になってません。近年でいうと平成30年度田中選手、令和元年度武川選手です。こうしてみると今回も大分厳しそうです。

今後の予定

9月18日(土) 全日本ジュニア県予選
ウイングハット春日部
入場 8:45

21日(火) 地区大会 所沢市民体育館
11:00入場

22日(水) // 8:30入場